

### 解説ツアー

# 水族館へ行こう!

## 京都大学白浜水族館



△ 普段入れないポンプ室を見学する来館者

6

### 加藤 哲哉

毎日開いている。

皆さんは水族館の裏側に入ったことがあるだろうか?。白浜水族館では夏休み中(〜9月2日)、水槽の裏側を見学する

水族館を訪れるお客さんは、水槽の中にある生き物を見に来ているのだから、水槽自体の構造を注意して見る方はほとんどいないだろう。水族館側も生き物に集中してもらえるように、水槽の管理にかかわる部分

さらに、水族館の地下に入って、大量の海水を循環させている大型ポンプやろ過槽なども見ることもできる。ポンプ類の機械音や、ろ過槽へ流れ込む水の音は相当なもので、解説する側は拡声器を使っているのに大声で話さないと聞こえないほどだ。

意外に知らない海の無脊椎動物について分かりやすい解説で紹介している。

この解説ツアーは夏休み以外に春休みや冬休みにも開いている。実験所の教員と水族館の飼育担当職員が日替わりで担当するので、担当者によって内容が少しずつ違っていても面白いだろう。

無脊椎動物解説ツアーは

# 水族館の裏側見ませんか

「水族館の裏側ツアー」は極力目立たないようにしている。しかし、さまざまな生き物の元気な姿を見てもらうため、水槽とその周辺にはさまざまな工夫をしている。

「水族館の裏側ツアー」ではそれを実際に目で見て確かめることができない。

「海岸の岩にくっついていたりフジツボは貝じゃないって知っていた?」「どげんかのウニの口はどげんかお尻は?」など、

午前10時45分から、水族館の裏側ツアーは午前11時15分からで、いずれも30分程度。

この期間中、小中学生は入館料(通常110円)無料なので、ぜひいろいろな海の生き物を見に来てほしい。

(京都大学技術職員)